

平成 2 1 年度 実施事業	事務事業名 登別市子ども地域交流プラザ事業補助金
-------------------	---------------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	3	青少年が健やかに地域で育つ環境づくり
小分類	1	地域との連携による青少年の健全育成
主要な施策	1	青少年の健全育成
事務事業番号	005	事務事業コード 52311005 事業開始年度 平成 元 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	登別市子ども地域交流プラザ事業補助金
------	------	------------	--------------------

部 名	教育部	グループ名	社会教育G
-----	-----	-------	-------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市子ども地域交流プラザ運営委員会
手段 (事業の内容・活動)	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 各中学校区(5校)と札内・来馬地区に設置した運営委員会では、児童・生徒を対象にした自然や生活などの体験事業を計画し取り組んでいる(田植え、鮭の稚魚の放流など)。また、各中学校区の運営委員会を統括する運営委員会では、ふれあい農園や巡視船体験乗船、海岸清掃と地引網体験などの事業を行っている。これらの事業を行う登別市子ども地域交流プラザ運営委員会に補助金を交付し支援する。 そのほか、児童・生徒が、異年齢(学年)の交流を行う場として、社会教育施設や市有施設を開放している(第2・4土曜日)。
目指す姿 (成果)	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 児童・生徒に、自然や生活などの体験の場を提供し、地域の方や保護者との交流を通して、豊かな心を育むとともに「生きる力」を身に付けさせる。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単位	区分	21年度 実績	22年度 目標	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標
成果 指標	事業参加者数	人	目標値	3,900	3,900	3,900	3,900	3,900
			実績値	1,987				
	社会教育施設等の利用者	人	目標値	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
			実績値	6,652				

事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称	千円						0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円						0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	1,000	1,000	900	0	0	900
合 計				1,000	1,000	900	0	0	900
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	646	717			
			嘱 託 員	千円	30	49			
			臨時職員	千円	0	14			
			合 計		676	780			

担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？ 子供たちの休日の居場所づくりとしての事業 であり、青少年健全育成の観点からも必要な事 業であるため。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあ がっている 成果があがらない	→ 成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？ 各地区で地域の特性を活かした事業を展開し ており、身近な自然やふるさとを再発見する きっかけとなっている。 また、子どもを核とした地域コミュニティの 再生・拡大にも効果が現れている。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる 少し向上させるこ とができる 向上させることはで きない	→ どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？ 地域の実情や参加者のニーズに応じた事業を 行うことで、成果の向上が期待できる。 ただし、少子化傾向であるため参加者数での 年度比較で成果を押し量ることは難しい。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由は何んです か？ 運営委員会の事業については、運営スタッフ はもとより講師等についてもほぼ全てがボラン ティアで運営されている。 また、各地区事業への予算配分についても、 運営委員会内で創意工夫に努めており、成果を 落とさずに予算を削減することは難しい。

担当グループによる評価

維 持	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	運営委員会の事業は子どもの居場所として定着しているだけでなく、事業の運営に携わる地域の大人にとっても、コミュニケーションの場として生きがいや楽しみづくりの機会となっている。このような住民力を高める事業については、行政としてもバックアップしていく必要があると考え、H23より学校支援地域本部事業へ移行して実施する。
------------	----------------------------------	--

総合的な評価（当該事務事業の方向性）

維 持	備考
------------	----

評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）